

平成30年度 Extra 1 応用動物科学セミナー

微生物と宿主が織りなす 複雑な“せめぎ合い”の分子機構

- 13:00 – 13:05 **平成30年度生体防御学特論について**
角田 茂 (東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻)
- 13:05 – 13:50 **内臓型リーシュマニア症の免疫病態**
後藤 康之 (東京大学大学院農学生命科学研究科 応用動物科学専攻)
- 13:50 – 14:35 **単純ヘルペスウイルスの新しい宿主免疫回避機構**
小柳 直人 (東京大学医科学研究所)
- 14:35 – 15:00 休憩
- 15:00 – 15:45 **腸内細菌叢による炎症性腸疾患の病態制御におけるIL-17ファミリーの役割**
唐 策 (東京理科大学生命医科学研究所)
- 15:45 – 16:30 **C型レクチンによる真菌感染防御と自己免疫疾患**
西城 忍 (千葉大学真菌医学研究センター)

● 6月20日(水) 13:00 ~ 17:00
フードサイエンス棟中島董一郎記念ホール

● 本講演は獣医学専攻博士課程「平成30年度 第1回 生体防御学特論」として行われるものですが、担当教員の厚意により本専攻の学生にも公開するものです。「動物科学のフロンティア」の講義としてはカウントしませんので、レポートの提出は必要ありません。

● 問い合わせ 先：獣医学専攻実験動物学教室 角田 茂 准教授

☎ 03-5841-5037

✉ akakuta@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp